

特集2

知っていますか？

幸田町 安全テラスセンター24



「幸田町安全テラスセンター24」略して「テラス」。皆さんは、テラスのことをご存じですか？

町では、“災害に強いひとづくり”を目指して令和3年4月1日から消防本部1階でテラスの運用を開始しました。しかし、本年度実施した防災意識調査では、93パーセントの人がテラスのことを知らず、認知度の低さが判明しました。

そこで今回はテラスについて知ってもらうために、テラス職員から活動内容を紹介します。



非常持出袋を考える【小学校】

子どもたちへの 防災教育



いの あつひと
伊野篤人

町内の学校で教師として勤務していました。退職後、名古屋大学の減災連携研究センターで防災の勉強をして、今はテラス職員（防災安全課）として勤務しています。

主な活動場所は、保育園、子育て支援センター、小学校、中学校です。また女性の会や老人クラブ、げんきかいなどからも依頼をいただき活動しています。

活動場所はさまざまですが、目的はただひとつ、「**自分の命を自分で守れる人になってほしい**」ということです。

災害はいつ起こるかわかりません。子どもたちの近くに大人がいない時に大地震が発生するかもしれません。どんな時に災害が起こっても、みんな無事でいてほしい。そんな想いをテラス活動で伝えていきます。

目的は同じですが、参加者によって内

容を工夫しています。

保育園では、とにかく【楽しく♪】、そして災害のこと、身を守るスキルなどを【知る】ことに重点を置いています。なまず号（起震車）体験や、えこたんの防災出前講座で園児に楽しく防災を学んでもらっています。



なまず号（起震車）体験【保育園】

小学校では、知ることにプラスして【イメージする・考える】ことを促す工夫をしています。災害が起きたらどうなる？何を準備しておくべき？など、防災ゲームなどを通して、子どもたちと一緒に考えています。

中学校では、【自ら動く人】になってほしいと伝えています。私たちは、災害が発生した時、中学生も「守られる立場」

「我が子を守る防災教室」

お子さんを災害から守る対策や備えは万全ですか？
子育て支援センターと安全テラスセンター24で、子育て中のご家庭向け防災イベントを開催します。家族や我が子を守る防災対策を学ぶだけでなく、困ったときに助け合えるネットワークづくりもできます。

と き 2月24日(※) 午前10時～正午

と ころ 上六栗子育て支援センター
(くりくりひろば)

内 容 なまず号(起震車)体験、防災についての話

対 象 町内在住で未就園の子の保護者

定 員 15人 *先着順

講 師 防災ママ かきつばた

参 加 費 無料

その他 託児もありますのでご相談ください。
(人数制限あり)

申 込 み 1月18日(※)から2月16日(※)までに上六栗子育て支援センターへお申し込みください。

☎・FAX(0564)62-8333



携帯トイレ体験【中学校】



災害対策研修



えこたんの防災出前講座【保育園】

から「守る立場」になってほしいと考えています。生徒からは、被災者の話を聞いたり、携帯トイレや段ボールベッド作り体験を通して、「中学生の自分にもできることがあることを知った」と感想をもらいました。



防災リーダー養成研修

また小中学校のほか、区長さんや各種ボランティア団体、自主防災組織、事業所などにもテラス活動を実施しています。災害時には、地域のつながりが命を救います。実際に、阪神・淡路大

小中学校の防災教育がすごく広がりを見せていて、多くの学校から防災教育の依頼をもらうようになりました。防災教育の必要性を伝えているので、テラス活動の成果を実感しています。

伊野さん同様、町内の学校で教師として勤務した後、名古屋大学の減災連携研究センターでの防災の勉強を経て、テラス職員(防災安全課)として勤務しています。



たか 高橋 亨

地域の防災力向上

震災で生き埋めになった人のほとんどが近所の人に助け出されました。災害時には自助・共助が要になります。「地域のつながりを作り、地域で支え合う」ことを目的に活動しています。

区長さんや地域の人に実施する研修では、地域のリーダーとして知っていたいただきたいことなどをお伝えしています。本年度はコロナ禍での避難所運営を中心に行いました。

また事業所には、防災応援協定を締結している町内のスーパーマーケットで、三河地震の継承やピノキオぶるる(木造住宅倒壊模型)体験、建築相談、防災レシビの配布などを行いました。スーパーマーケットで活動したことで、たくさんの方に防災に関心を持っていただくことができたと思います。



スーパーでの防災啓発イベント

防災意識調査を実施しました

防災に関する関心度を5段階でお聞きしました（とても関心がある・まあまあ関心がある・どちらともいえない・あまり関心がない・関心がない）。

とても関心がある・まあまあ関心があると答えた割合は次のとおりです。

①地震	90%
②台風や集中豪雨による洪水や浸水	76%
③お住いの場所の災害による危険性	70%
④ご家庭の防災対策	63%
⑤区内での災害時の対応	50%
⑥土砂災害	47%
⑦区の防災資機材の配置や装備	39%
⑧区の防災活動や防災訓練	38%
⑨役場の防災活動や訓練	34%
⑩区の活動（会合やイベントなど）	32%

関心があると答えた人は、**女性が多く、また男女関係なく年齢が高い**人ほど関心が高くなる傾向がありました。**あまり関心がない、関心がない**と答えた人は、**男性や60歳代に多い**傾向です。土砂災害への関心については、年齢が高いほど関心が低く、区の活動については、各年齢層ともに関心が低い傾向にあります。**どちらともいえない**と答えた人は、**男性や60歳代に多い**傾向でした。

【テラスに求めること】複数回答可

①避難場所や避難経路の確認・検討	36%
②避難行動や災害時の対応に関する講習	34%
③防災対策の講習	25%
④自治会の防災活動への支援	16%
⑤家具や什器の固定や、落下防止対策の講習	15%
⑥町への要望の受付	13%
⑦防災について話し合う場の創出	10%
⑧職場の防災対策、BCP*の講習	4%

*緊急事態が発生した時に事業継続するための計画のこと

町の消防署に勤務していました。その時に、阪神・淡路大震災と東日本大震災



杉浦信克

防災意識調査を踏まえた今後のテラス活動について

の支援活動に行った経験があります。東日本大震災の際には、被災地の宮城県多賀城市^{がじょうし}に行き、震度6強の地震に遭いました。津波警報発表の中、高台の避難所に避難しました。この経験から、日頃の生活の中で備蓄をすることがいかに大切かを痛感しました。被災地での体験を交えて講話をすると、皆さん真剣に聞いてくれます。お話を少しでも実行してもらえたらと思います。

さて、令和3年6月下旬から7月末に行なった防災意識調査では505人から回答をいただきました（対象は町内在住の20歳以上の男女1000人）。その結

果、テラスを知っている人は6パーセント（未記入1パーセント）しかいませんでした。また知っている人に男女差はありませんでしたが、20歳代の認知度が低いことがわかりました。そこで、今後は若い人が来たくくなるようなテラス活動を考えていきたいと思っています。また左表のテラスに求めることの結果から、避難場所や避難経路など現状の対策周知や、災害時の行動のスキル・防災対策の知識習得などの活動をさらに増やしていきたいと思っています。

インスタグラムで、テラスの活動やイベント情報などを発信しています。まずはテラスの活動について知っていただきたいと思いますので、フォローをお願いします。

防災研修や防災訓練などのご相談、防災ってまずは何をしたらいいの？ どうすればいいの？ など、お気軽にテラスにご相談ください。お電話でも直接でも受け付けています。テラス職員がお待ちしております。

今後も、町の安全を「照らす」存在として皆さんの防災対策を応援していきます。



KOTA.TERAS24

→ 幸田テラスのインスタグラムはこちら
（#幸田テラス）

問合せ

幸田町安全テラスセンター24（消防署1階）
☎（0564）63・2119
防災安全課 安全テラスグループ
☎（0564）62・1111（内線373）
FAX（0564）63・5139

防災川柳結果発表！

皆さんにテラスの存在を知ってもらうことを目的に、コロナ禍でも誰でも参加できる防災川柳を募集しました。町内の保育園や小中学校、幸田高等学校、スーパーマーケットなどの各所で募集したところ、2327作品もの応募がありました！ 皆さんありがとうございました。審査の結果、優秀作品3作品、入賞作品28作品が決まりました。優秀作品、入賞作品は、今後のテラス活動でご紹介したり、啓発グッズに掲載させていただく予定です。

* 敬称略

町長賞

避難所で自らやろうできること



南部中学校 3年生 山本瑠央

【作品に込めた想い】

普段からクラスで、自分からやれることは進んでやるという目標があり、災害時でもそれを活かしたいという思いから、私でも地域のためにできることを考えました。

副町長賞

「もうだめか」そうなる前に ひなんする



深溝小学校 6年生 福地美月

【作品に込めた想い】

私がもし災害にあった時、逃げ遅れてしまうことがないように、安全なうちに早く避難する気持ちが大事だという思いを込めました。

教育長賞

いざ避難 安否確認 となりまで



高校生および一般の部 高良孝美

【作品に込めた想い】

もし地震が発生した時には、家族と避難すると思いますがその時、私は家族だけでなく、隣近所まで周りを見ながら、避難したいという考えを込めました。

入賞

小学生以下の部

訓練は やったもんがち つく自信

坂崎小学校 4年生 内山栄緒

そなえよう 家具の固定で身を守る

坂崎小学校 5年生 岩瀬紗良

安心を 確するには 備蓄から

坂崎小学校 6年生 阪野瑠介

がたがたと じしんがきたら ダンゴムシ

幸田小学校 4年生 山本絆永

じしんきた ブロックベいから

幸田小学校 4年生 小原泰志

各家庭 じしんたいさく 家具固定

幸田小学校 5年生 石川莉帆

ひなんばしよ かぞくみんなではなしあおう

中央小学校 5年生 池田朱里

食料は 最低三日 用意する

荻谷小学校 4年生 山崎立輝

呼びかける 地域のひと ひなんする

深溝小学校 6年生 内藤友南

げんかんの もちだしぶくろ ほじゅうよし

豊坂小学校 3年生 白川結惟

中学生の部

七日分 備えて安心 非常食

幸田中学校 2年生 梅本あかり

「もしものとき…」家族と話す 夕食時

幸田中学校 2年生 都築媛菜乃

災害時 日頃の備えが 身を守る

幸田中学校 3年生 伊藤航生

家具固定 自分と家族の 命綱

幸田中学校 3年生 早川遙風

伝えてる よく見て聞いて 避難指示

南部中学校 1年生 中根美桜

見ておこう 僕らの町の ハザードマップ

南部中学校 2年生 竹内遥馬

ありますか 家族を守る 備蓄品

北部中学校 1年生 糟谷友菜

対策を 忘れないのが 危機管理

北部中学校 2年生 小石礼愛

確保しよう 逃げ道食料 水命

北部中学校 2年生 足立純伶

僕の部屋 地震が来たら 大惨事

北部中学校 3年生 木下駿

高校生および一般の部

備えても 備えたりない 大地震

幸田高等学校 3年生 田村ひなの

さんぽする 避難経路の 確認も

幸田高等学校 3年生 赤川幸汰朗

九九表と ハザードマップ ある茶の間

立山ゆづ子

外れても それは素振だ 避難指示

山口隆雄

備蓄品 「出番無し」の が いいだらあ

志賀青香

訓練で 命を守る 町守る

匿名希望

守ります 逃げる勇気で 我が家族

稲吉和也

避難所の 心配よりも 我が家見て！

横田隆之

* 応募作品をそのまま掲載しています。

